

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
55111	文化財保護事業	教育委員会	文化係	百瀬 辰夫	福島 永
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	2504
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1067	文化財保護事業	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	5節	地域文化の保護と育成
項[基本施策]		(コード選択)	1項	文化財の保存と活用	
目[主な施策]		(コード選択)	1目	文化財の調査・保存	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

辰野町の住人(特に未来を担う子どもたち) 辰野町を訪れる人

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

文化遺産は自分たちで守るということを認識し、地域の誇れる文化財を保護・活用し、未来に伝えることを積極的に進める。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	小野宿問屋を定期的に公開し、所蔵文書等を利用して講座を開催する。また、保存会による環境整備を行う
2	文化財を、研修や校外活動の場として提供する
3	文化財保護保存団体を支援する
4	『辰野町誌』編纂時の史料を整理し、公開できるように整える

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)		
①	指標名	旧小野家住宅の公開と講座の開催		日	16	16	16	1.00	16
	説明	定例公開(第2日曜日)、春夏秋冬特別公開、公民館講座の実施日数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	冬期を除く1回の公開と夏期間の連続8日間の特別公開および、公民館講座を開催して公開見学の機会を確保する				
②	指標名	指定文化財の公開日数		日	34	20	15	1.33	15
	説明	見学者の申請により特別に公開した日数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	学習や、研修活動を目的とした特別公開の申請に対応して公開見学の				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)		
①	指標名	旧小野家住宅の公開と講座の参加人数		人	479	202	250	0.81	250
	説明	定例公開(第2日曜日)、春夏秋冬特別公開、公民館講座の参加人数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	地域の伝統文化を認識し、文化遺産に誇りを持つ人を増やす				
②	指標名	指定文化財の定例公開日以外に訪れた人数		人	839	799	350	2.28	350
	説明	定められた公開日以外に申請により訪れた人数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	地域の伝統文化を認識し、文化遺産に誇りを持つ人を増やす				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度見込み
		19,118	27,517	10,390	11,970
対前年比	%		143.9	37.8	115.2
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	9,440	14,615	0	4,977
B)一般財源(税金)	(千円)	9,678	12,902	10,390	6,993
①事業費	(千円)	19,080	27,480	10,359	11,940
対前年比	%		144	37.7	115.3
②人件費の概算	(千円)	38	37	31	30
対前年比	%		97.6	82	99.4
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00
臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 文化財保護審議会
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	B	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない	
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある		Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある		Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない		C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない		A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり		C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり		C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中		A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 保存会による施設の公開

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

<今後の展開方針> (イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
教育委員会事務局が、文化財保護保存団体を支援し、文化遺産の保護・保存・公開・活用を図る。	[反映内容] 小野宿問屋保存会、辰野町石造物調査会、小野のシダレグリ自生地保全友の会への委託料

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

A	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	保存会事務局として、会の円滑な運営に協力した。また、小野宿市等の機会の積極的な公開により、目標を上回る見学者数となった。

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
町の財産として文化遺産の保護・保存は大事である。公開や報告などの活動を通じ、多くの方に文化財への関心と理解を深めてもらう。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択